

Rihoの ドイツ便り

電気自動車で行こう！

No.58

ハノーファー電力公社はこのほど、街中心のオペラ広場の前に、電気自動車用の充電スタンドを設置した。市内では、昨年11月に第1基が設置されてから、4基目になる。中心街だから、ショッピングにでかけたついでに利用でき、人気がでそうだ。

同社では、CO2の排出の少ない電気自動車の普及に尽力している。既存の充電スタンドでは充電に8-10時間かかるが、この4基目は最新型なので、2、3時間しかかからない。16アンペアまたは32アンペアで充電できる。しかも電気自動車推進の一環として、同社の顧客は2013年末まで市内のスタンドすべてで、無料で充電できる。

ちなみにドイツには約1000の電力会社があり、どこから電気を買うかは自分で選べるため、中には同社から購入していない人もいる。

ドイツ政府は2020年までに、全国で100万台以上の電気自動車の普及を見込んでいる。2008年にドイツでは、電気自動車（ハイブリッドを除く）は1000台しか走っていなかった。全国の乗用車4100万台のうちの1000台だから、まだまだ少ない。連邦政府は5億ユーロの補助金をかけて、2020年までに100万台の普及を狙っているが、専門家は厳しいとみている。

電気自動車はボルボや日産の機種だと3万ユーロ（360万円）と、同程度のガソリン車より1万ユーロ（120万円）ほど高いうえ、現在は平均150キロ四方にしか充電スタンドがない。同社は「最近では電気自転車や電気バイクの利用も増えており、環境にやさしい電気自動車は増えるだろう」と、充電スタンドの整備を急いでいる。



「CO2ゼロで移動！」と書いた充電スタンド

田口理穂 ごみかんドイツ特派員

ドイツで子育て♪

宝石みたいなことばです



- * ケーキと一緒に食べているとき「ママ、ケーキ屋さんになろうかな」というと、明は「じゃあ、だれがママになるの?」。私がケーキ屋さんになると、ママではなくなってしまうと思ったらしい。「だれが日本語しゃべる?」とも。
- * 日本の絵本にはだかんぼの子どもが出てきた。それをみて明は「アフリカから来たんだよ」という。「どうして」ときくと、「裸だから」。アフリカでは裸だと、どこからきたのか。保育園の友達のマーティンは黒人で、明をアフリカに招待してくれた。ほんとうに行けたらすごい。
- * 「となりのトトロ」の絵本を見て、トトロが大好きに。森に行くたび「トトロいるかな」と探している。しかしある日「トトロはドイツにいるのかな」とぼつり。確かに絵本の最初に「トトロはずっと昔から日本に住んでいる」と書いてあった。